

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	馴染みの場所・人との関係継続について、ホームに入ると段々と家族や親戚との交流が減ってきている。墓参りや家族との買い物などの希望も聞かれる。	不定期ながらの、家族との外出機会を増やしていく。	まずは、歯科・眼科など不具合がある時は、家族との通院を基本として話しを進める。継続が無理な時は、数回でもいいので通院介助をしてもらうことで、家族とのつながりが密になると思われる。歌謡物希望に関しても、出来るだけ家族に依頼することでホームへの来所回数を増やして行く。	12ヶ月
2	26	問題時や変化時にはカンファレンスを行っているが、家族へは説明で終わることが多い。	家族との意見交流を増やしていく。	問題時や変化時には、内容説明と対応の変更について説明する時には、家族の意見も聞くように問いかけていく。それにより、家族の希望や考えを拾い上げて文章として残すようにして行く。	12ヶ月
3	31	医療連携病院より訪問看護を受けていたが、今年より訪問看護ステーションが開設になった。ステーションの業務内容とホームのニーズのすりあわせが必要。	翠鳳第一病院との円滑な連携作り。	ホームより医療面に関する相談順位を、訪問看護ステーション・病院と取り決める。連絡先の表示と介護者への浸透を速やかに行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。